

環境調査結果のお知らせ

令和2年1月10日午前10時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温16～18℃、塩分34～35、溶存酸素量6～7mg/lでした。
透明度は6～11mで、有毒種のアレキサンドリウムが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温16.1～18.3℃、塩分33.6～34.8でした。
前回調査時(R1.12.16)と比較して、水温は表層から全層で1.2～1.6℃下降しました。塩分は全層で0.1～0.2下降しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.2～7.2mg/lでした。
前回調査時(R1.12.16)と比較して、全層で0.1～0.5mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は6.0～11.0mでした。
検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリウム属が最高で2cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

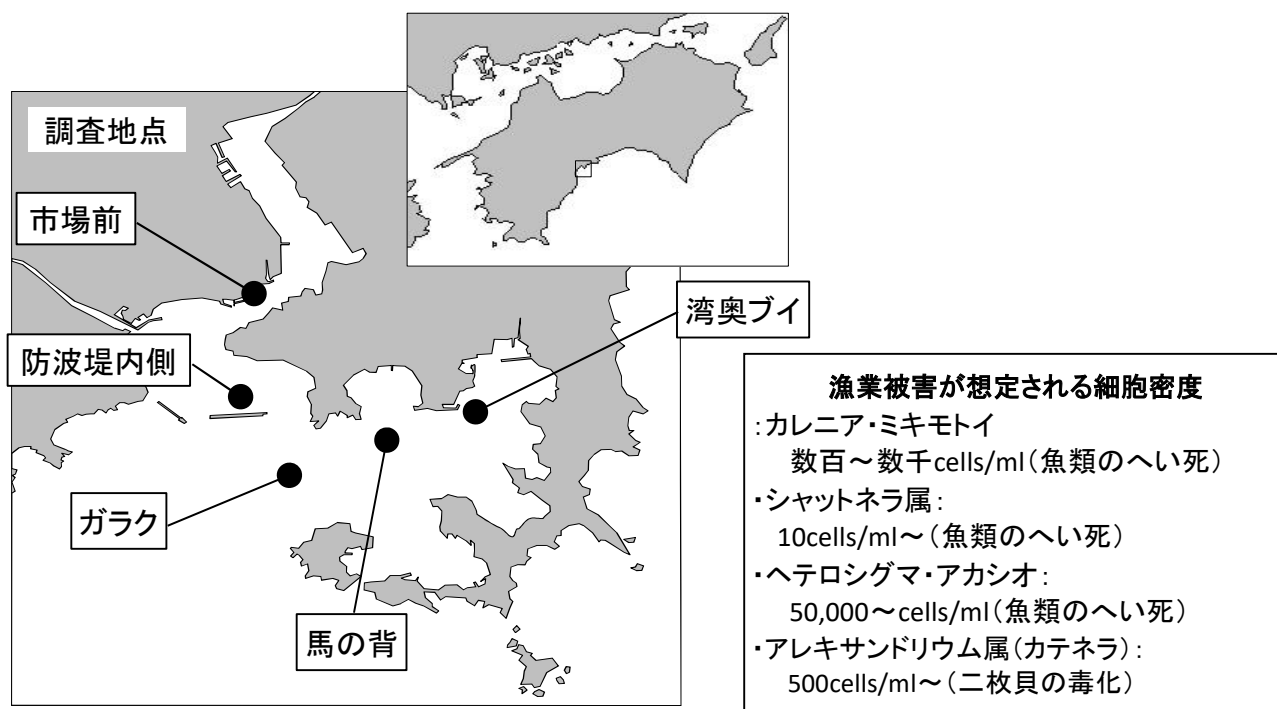


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.12.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	17.5	17.8	18.2	16.1	17.8	19.1	▲ 1.3	16.8
2m	17.5	17.8	18.3	16.1	17.9	19.1	▲ 1.2	17.1
5m	17.2	17.7	18.2	16.9	17.7	19.1	▲ 1.4	17.3
10m	17.2	17.6	18.1	17.4	17.6	19.1	▲ 1.5	—
B-1m	17.2	17.5	17.9	17.6	17.5	19.1	▲ 1.6	17.6

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.12.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	34.6	34.6	34.6	33.6	34.6	34.8	▲ 0.2	34.0
2m	34.6	34.6	34.8	33.8	34.7	34.8	▲ 0.1	34.2
5m	34.6	34.6	34.7	34.0	34.6	34.8	▲ 0.2	34.4
10m	34.6	34.6	34.7	34.5	34.6	34.8	▲ 0.2	—
B-1m	34.7	34.6	34.7	34.6	34.7	34.8	▲ 0.1	34.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.12.16)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.9	6.7	6.5	7.2	6.7	6.4	0.3	6.6
2m	6.7	6.8	6.4	7.2	6.7	6.2	0.5	6.5
5m	6.6	6.6	6.6	6.8	6.6	6.2	0.4	6.5
10m	6.2	6.4	6.5	6.4	6.4	6.3	0.1	—
B-1m	6.4	6.5	6.4	6.2	6.4	6.2	0.2	6.3

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.9	24.5	15.3	16.0	11.2
透明度	6.5	9.0	11.0	6.0	4.5
前回(12/16)	7.0	6.0	8.5	5.0	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ ・アカシオ	アレキサンド リウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	80
	2m	0	0	0	0	120
	5m	0	0	0	0	150
馬の背	0m	0	0	0	0	20
	2m	0	0	0	2	40
	5m	0	0	0	0	110
ガラク	0m	0	0	0	0	5
	2m	0	0	0	0	20
	5m	0	0	0	0	25
津波防波堤 内側	0m	0	0	0	0	30
	2m	0	0	0	0	50
	5m	0	0	0	0	95
市場前	0m	0	0	0	0	10
	2m	0	0	0	0	25
	5m	0	0	0	0	65